

北海道新幹線札幌駅のホームを現駅に併設するよう求める決議

北海道新幹線は、全国新幹線鉄道整備法に基づき、昭和 48 年に整備計画路線に決定された整備新幹線 5 路線の一つであり、これまでも東北や北関東の各県と連携しながら、道民挙げての建設促進活動を展開してきた。

この結果、新青森・新函館北斗間については、平成 28 年 3 月の開業が決定したほか、平成 24 年 6 月に認可された新函館（仮称）・札幌間の工事実施計画についても、本年 1 月に、政府・与党整備新幹線検討委員会において、札幌延伸を 5 年前倒しし、平成 42 年度末に開業を目指すことが決定された。

本市は、「JR 札幌駅の在来線ホームを北側に移設し、併設駅として新幹線駅を設置する。」との現認可案を前提として、JR 在来線、地下鉄及びバスなどとの乗り継ぎ利便性の向上等を念頭に、札幌駅周辺のまちづくりの検討を進めてきた。

ところが、先般、札幌駅における新幹線のホーム位置について、北海道旅客鉄道株式会社が、現認可案のほか、地下、東側及び西側の計 4 案について検討しているとの報道がなされた。

この新幹線のホーム位置の変更は、新幹線と各交通機関との乗り継ぎなど、駅周辺のまちづくりの検討に大きな影響を与えるものである。

よって、本市議会は、同社に対し、利用者の利便性を損なうことなく、北海道新幹線札幌駅のホームを現認可案のとおり、現駅に併設するよう求めるものである。

以上につき、決議する。

平成 27 年（2015 年）12 月 10 日

札幌市議会

（提出先）北海道旅客鉄道株式会社

（提出者）総合交通調査特別委員会